

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
テーマ・事業名	◆南区家族ふれ愛事業 ◆夏休みの宿題サポート事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	◆南区家族ふれ愛事業の12年目として、児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆夏休みに子どもたちの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を活かし、世代間交流の場とする。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展の開催 ■日時: 令和5年11月1日(水)～11月23日(木・祝) ■会場: 白根学習館1、2階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数: 648点 ・(絵画) 南区内小学校4年生の児童331人から出品があった。 ・(標語・川柳) 南区内中学校1年生の生徒317人から出品があった。 ※地区文化祭、地域生活センターで絵画・川柳展示 展示箇所: 庄瀬、小林、臼井、大通地区 ◆夏休みの宿題サポート事業 ○「みんなで宿題! 3days～ハッピー夏休み♪～」の開催 ■日時: 令和5年7月24日(月)～26日(水) 午前9時30分から10時30分 ■会場: 白根児童センター 参加者: 児童 延51人(24日:15人 25日:16人 26日:13人) ボランティア 延13人(24日:4人 25日:3人 26日:3人) ・小学生を対象に各日20人、保護者や子育てサークルからボランティアを募集し実施。学習終了後にはお楽しみのくじ引きも行った。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 ・多数の出品があり、恒例の事業として学校側にも定着してきている。 ・展示が1階、2階に分かれたため、全て見るのは難しかった。 ・委員の考えたオリジナルな賞名はアンケートからも好評だった。 ・アンケートの回答数が14人と少なかった。観覧者数の把握ができない。 【課題及び今後の取組】 ・学校と連携した事業という面ではよいが、作成がスケジュール的に厳しく、締切までの提出が難しいという学校もあり、依頼方法の見直しが必要である。 ・子どもたちの家庭の状況は様々であり、テーマに「家族」という言葉を引き続き使用するか検討する。 ・学習館で一同に作品を展示することにこだわらず、各地域での展示や、さらに展示以外の取組みも含めて再考する。 ◆夏休みの宿題サポート事業 【評価】 ・子どもたちが集中して学習を行うことができ、夏休み生活のリズム作り、家庭支援の一助となった。保護者からはもっとやってほしいという声もあった。 ・参加者募集や申込み受付など、会場となった白根児童センターの協力のもと実施することができた。 【課題及び今後の取組】 ・今回は白根児童センターのみで実施したが、他の地域でも実施を検討していく。 ・ボランティアスタッフとして、どのようなサポートの仕方がよいか戸惑いがあった。方針を決め、事前にスタッフが共通認識を持ったうえで参加してもらう。 ・今回の反省点を活かして当日の運営方法などを見直し、より子どもたちにとって有意義な会となるようブラッシュアップしていく。
備考	